

交通に関する課題まとめ

項目	課題
交通網に関すること	もーりーカーにおいて、利用者の年齢、免許の所持状況、希望する行き先および時間帯等の条件によっては日常的な移動手段とすることが困難である。
	路線バス（レインボーラインを除く）において、路線（バス停）はあるものの、運行本数や運行時間帯が充実しておらず、また、市内の横断的な移動も困難である。（守山駅を経由する必要がある）
	路線バスともーりーカーの運賃や乗降場所等の条件を比較すると、もーりーカーの方が優位性が高いため、路線バスの利用者がもーりーカーに流れている可能性がある。
利用者や事業者の利用環境に関すること	予約窓口が2つ（2社）あることにより、利用者の混乱や乗合率の低下につながる。
	もーりーカーにおいて、支払いが現金のみであるため、スムーズな運行に支障が出る可能性があること、また、予約が電話のみであるため、受付時間が限定されることや前日に事業者から利用者に予約確認の連絡が必要なこと等を鑑みると、利用者と事業者双方の利用環境において向上の余地がある。
	路線バスにおいて、バス待ち環境が整っていない。
公共交通への利用者の意識に関すること	自家用車での移動が前提となっており、駅周辺で発生する渋滞の要因のひとつとなっている。
市の財政負担に関すること	もーりーカーにおいて、現在の補助金制度（メーター料金－運賃）では、利用件数増加に比例して補助金額が増加する。（増加率が読めない）
	もーりーカーにおける、乗合率の低さ（運行台数の増加）により、補助金額が増加している。